今回の探検先は…

サンシャイン水族館

池袋のランドマーク「サンシャインシティ」内に構える日本最初の屋上水族館。“天空のオアシス”をコンセプトに、2011年8月待望の全面リニューアルを果たす。国内初となる頭上水槽「サンシャインアクアリング」、敷き詰められた白砂が南国の海を想わせる「サンシャインラグーン」など、都会のまん中にいることを忘れさせてくれるエンターテイメント空間。子どもから大人まで、日々多くの人たちに安らぎ・発見・感動を提供し続けている。

●探検実施日：2016年3月29日（火）

水族館の「ウラ側」に潜入！ オモテからは見えない様々な工夫に感動

みんなが知っている水族館

「水族館に行ったことがある人！」司会からの投げかけに、参加者全員が手を挙げる。今回、春休みを迎えたばかりの小学生15名が探検に向かった先はサンシャイン水族館。いつもは楽しく観賞するお出かけスポットだ。足を運べば、いつでもそこにはたくさんの水槽があってイロイロな生き物がいる…その〝当たり前〟を支えてくれているのは、どんな人たちだろう？みんなで考えてみた。飼育員さん、チケットを販売する人、ダイバーさん…子どもたちの口からはたくさんの職業名があがり、探検への期待が膨らんだ。

「ウラ側」にワクワクドキドキ！

いつもと入り方が違うぞ！？サンシャインシティに到着した子どもたちが乗ったのは、一般のお客さんは使えない関係者専用の大エレベーター。これは展示生物の運搬にも使い、高層水族館ならではの設備のひとつだ。

最初に入ったのは水族館のひとつ下の階にある「さくらルーム」。まず始めに、歴史や特色といった施設の概要説明を受ける。約450種類・1万5000もの生き物を飼育・展示していることを教わると、子どもたちは驚きの声をあげた。

プロの皆さんに話を聞いてみよう！

次に話をしてくれたのは、海獣担当の松戸さん、魚類担当の山本さん、そして設備担当の吉田さん。山本さんは「もともと野生にいた動物は弱みを隠そうとする傾向が強いんだ。飼育生物の〈健康管理〉は、一番大事であると同時にとても難しい仕事。病気など、人間の目にハッキリ分かる頃には重症のことが多い。だからちょっとした変化も見逃さないよう、食べたエサの量や様子などを注意深く見守っているんだよ」と話してくれた。飼育員としての細かい気配りと深い知識に、子どもたちもすっかり聞き入っていた。絶滅危惧種に指定されているムサシトミヨの繁殖に成功した喜び、縁の下の力持ちとして設備を守っている誇り…一方、真冬でも海に潜らなくてはならないという採集活動の大変さなど、各部門の専門家が語ってくれる様々なエピソードの全てが、子どもたちには新鮮だったようだ。そのあとは、質問タイム。あれも聞きたい、これも聞きたい！途切れることのない子どもたちからの質問に、スタッフの皆さんは嬉しそうに答えてくれた。

エサやりを体験！

続いては、エサやり体験と裏側見学。小さいエビを団子にしたエサを受け取ると、水槽の真上へ。今まで見たことのない場所と眼下を泳ぐ魚に子どもたちは大興奮！ガラス面に当たらないよう、慎重に投げ入れる。「すぐバラバラになっちゃった」残念そうな子に山本さんは言う。

「それでいいんだよ。バラけるから魚が等しく食べられるし、取り合いの喧嘩をしないで済むんだ」なるほど～と大きく頷く子どもたち。魚の口の大きさに合わせて変えるエサ作り、365日絶えず稼動する大掛かりなろ過システム、病気やケガを治療したりするための予備水槽など。生き物を飼育し、そして展示するための大切な工夫を子どもたちはたくさん学んだ。

初めて見た、華やかな水族館の舞台裏

水族館をあとにした子どもたちは、アイデムに戻って今日のまとめを発表。「お客さんを楽しませるための工夫がたくさんあって驚いた」「水族館の裏側を見られて楽しかった」「15kgもあるエサを運んだり、たくさん勉強したり大変そう」一生懸命に書きとったノートをもとに、それぞれの感想を伝え合う。楽しい部分だけではなく、仕事ならではの厳しさも知った子どもたち。将来は飼育員になりたいという子は最後にこう言った。

「また一歩夢に近づいた気がする！」未来の水族館スタッフが、ここから生まれるかもしれない。

感想コーナー

●いつものお客さん目せんではなく、今日は働く人の側から見れてよかったです。

●今まで水族館には飼育員くらいしか仕事がないと思っていたけれど、よく考えると、水そうなどを用意する仕事も必要なので、設備担当はすごく大切だと思いました。すごくかつやくしていてあこがれました。

●ふだんは見れない場所に行けて、知らなかった仕事などもよくわかりました。

サンシャイン水族館
アクアゲストコミュニケーション部　担当課長　山本 昭さん

生物を状態良く飼育展示することがアクアスタッフの大切な仕事ですが、楽しいイベントを考え、水族館にお越しいただいたお客様により楽しい生物との時間を過ごしていただくことも大切な仕事です。そのためには生き物についてだけでなく、いろいろな知識が必要です。探検隊のみなさんには勉強をたくさんして得意分野をつくっておいてほしいと思います。将来必ず役に立つ時が来ます。短い時間でしたが、アクアスタッフの仕事を少しで知ってもらえてとてもよかったと思います。

●「アイデムしごと探検隊」ご協力のお願い
訪問先としてご協力いただける企業・団体を募集しています。子どもたちが「仕事」について考える機会を一緒に提供していただけませんか？
お問い合わせは アイデムまで 0120-938-989